主催　総合地球環境学研究所
共催　人間文化研究機構 / 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター

公開セミナー

大槌の水とエネルギーと漁業

2018 年 2 月 18 日（日）9:30 ～ 12:00

会場：大槌町役場 大会議室

大槌における研究の概要、小水力発電の導入事例と大槌町における可能性、地下水流動のモデル計算、湧水と水産資源のつながり、地域資源をめぐるステークホルダー分析の結果を紹介し、総合討論では参加者からの質問を受け付けます。

お問い合わせ：総合地球環境学研究所 研究室 11　TEL：075-707-2302

事前申込・不要

プログラム（各タイトルは仮のものです）

司会：王 智弘（地球研）

09:30 ～ 09:35　開会
- 町長ご挨拶　平野 公三

09:35 ～ 09:45
- 趣旨説明　河村 知彦（東京大学）

09:45 ～ 10:00
- 報告　遠藤 愛子（地球研）
  「大槌における水・エネルギー・食料ネクサス研究」

10:00 ～ 10:40
- 講演　小林 久（茨城大学）
  「小水力発電の意義、導入事例と主体形成」
  質疑応答

10:40 ～ 10:55
- 報告　宮下 雄次（神奈川県温泉地学研究所）
  「大槌における地質・地下水流動モデル」

10:55 ～ 11:10
- 報告　小路 淳（広島大学）
  「湧水と水産資源のつながり」

11:10 ～ 11:25
- 報告　増原 直樹（地球研）
  「大槌の水・エネルギー・食料に関するステークホルダー分析」

11:25 ～ 12:00
- 総合討論
  コメンテーター：窪田 順平（地球研）